

日本蘚苔類学会第45回屋久島大会プログラム

○会期：2016年8月29日（月）～31日（水）

○会場：屋久島町安房総合センター（鹿児島県熊毛郡屋久島町安房 187 番地 1）
<http://www.town.yakushima.kagoshima.jp/cust-facility/1228/>

○宿泊・懇親会：屋久島山荘（屋久島町安房 2364-35） <http://yaedake.jp/hotel/access.html>

○主催：日本蘚苔類学会

○後援・協力 屋久島コケの会（EX-MOSS）、屋久島観光協会、鹿児島県屋久島環境文化財団、屋久島町、屋久島学ソサエティ

■スケジュール

【8月29日（月） オプショナルツアー 幹事会 記念鼎談】

オプショナルツアー

(12:45) オプショナルツアー集合【屋久島山荘前】※荷物はホテルに預けて集合してください。

(13:00～15:00) オプショナルツアー（幻のフウチョウゴケ観察）

《屋久島山荘→貸切バス→前岳登山口→フウチョウゴケ群落と巨大屋久杉切株
→登山口→貸切バス→屋久島山荘》

(15:00～) 大会受付【屋久島山荘 ロビー】

(16:00～17:00) 幹事会【屋久島山荘 カフェ「山小屋」】

(17:00～18:00) 夕食【屋久島山荘】

(18:15～) 徒歩で「安房総合センター」へ移動

(19:00～20:30) 記念鼎談 屋久島のコケの魅力とその展開【安房総合センター大ホール】（一般公開）

秋山弘之（兵庫県立人と自然の博物館主任研究員 元日本蘚苔類学会会長）

古木達郎（千葉県立中央博物館 主席研究員 前日本蘚苔類学会会長）

山口富美夫（広島大学理学部 教授 日本蘚苔類学会会長）

司会 嶋村正樹（広島大学理学部 准教授）

(20:45～) 徒歩で「屋久島山荘」へ移動（川辺の町、安房でご自由にご懇親ください。）

【8月30日（火） 研究発表 記念撮影 ポスター発表 総会 懇親会】

7:00 朝食

8:30 徒歩で「安房総合センター」へ移動

9:00 受付【at 安房総合センター】

9:00～9:20 ポスターの掲示

9:15 開会の挨拶・スケジュール説明（会長・庶務）

一般講演 I（座長 片桐知之）

9:20 OP01. タイ類スジゴケ科 *Riccardia tosana* (Steph.) S. Hatt. の分類学的再検討
古木達郎（千葉県立中央博物館）

- 9:35 OP02. 南アルプスから報告された *Haplomitrium minutum* (アイノコマチゴケ) の実体
佐藤匠*・嶋村正樹・片桐知之・山口富美夫 (広島大・院・理・生物科学)
- 9:50 OP03. 東アジア産シダレウニゴケ *Symphyodon perrottetii* (ウニゴケ科, 蘚類) が内包する種多様性
秋山弘之 兵庫県立大学自然・環境科学研究所/兵庫県立人と自然の博物館
- 10:05 休憩
一般講演 II (座長 松井透)
- 10:15 OP04. 生育環境の異なる 2 地点でのシモフリゴケのフェノロジー比較
丸尾文乃* (総研大)・伊村智 (極地研、総研大)
- 10:30 OP05. コツボゴケの精子分散距離に関わる試み
鶴沢美穂子* (茨城自然博)・吉田茂美・秋葉弘子 (茨城自然博ボランティア)
- 10:45 OP06. 培地の違いがハイゴケの伸長に及ぼす影響
川村 通 (島根農技セ)
- 11:00 OP07. コケ植物の見本展示「苔のパッチワーク花壇」の新設のついて
久保晴盛*・小川恒彦・山本昌生 (広島市植物公園)
- 11:15 休憩
一般講演 III (座長 嶋村正樹)
- 11:25 OP08. 蘚類へのゲノム編集技術 CRISPR/Cas9 システムの導入
野村俊尚^{*1}、榊原均^{1,2} 1 理研・環境資源科学研究センター、2 名古屋大・院・生命農
- 11:40 OP09. ヒメツリガネゴケの生活環で機能するジベレリン様成長制御物質の探索
宮崎 翔^{*1}、原 万里穂¹、Park Seung-Hyun¹、川出 洋²、林 謙一郎³、浅見忠男¹、中嶋正敏¹
(1 東大院・農生科、2 東京農工大院・農、3 岡山理大・理)
- 11:55 OP10. ウマスギゴケの表現型可塑性
井藤賀操・加藤由佳梨・榊原均 (理研・環境資源科学研究センター)
- 12:10 OP11. コケによるセシウム吸収
森村浩司*、相澤朋子、上田賢志、砂入道夫 (日本大・生物資源)
- 12:25 記念撮影
- 12:40 昼食
- 14:00 ポスター発表
- PP01. ガガンボ科昆虫の糞から発見されたコケ類の無性芽
大崩貴之*・今田弓女・加藤真 (京都大・院・人環)
- PP02. 北海道羅臼町マッカウス洞窟のヒカリゴケの再生に向けた取り組み
丸山立一^{*1,2} 天方博章^{1,3} 涌坂周一^{1,4} 田口悟朗^{1,5}、神田啓史^{1,6}、(1 羅臼のひかりごけ保存会、2 (株) 構研
エンジニアリング、3 羅臼町郷土資料館、4 元羅臼町郷土資料館 5 信州大学繊維学部 6 元国立極地研究
所)
- PP03. 北八ヶ岳のヒカリゴケ生育地の温湿度・照度環境
石鍋 健 (愛知県名古屋市)・樋口正信* (科博・植物)
- PP04. サイクロメータ法を用いて測定した苔類 3 種の水ポテンシャル
鈴木 雅・横田岳人 龍谷大学大学院理工学研究科
- PP05. 遅延蛍光の減衰速度を指標とした蘚類 4 種の乾燥耐性の評価
家倉凌* 今西純一 (京都大学農学研究科)

- PP06. 大気汚染物質オゾンと二酸化窒素に対する蘚苔類の指標性に関する実験的研究
清水英幸 1)*, 須田隆一 2), 3), 岩月善之助 2), 4)#, 戸塚績 1), 5) (1) 国立環境研究所, 2) 広島大学理学部, 3) 福岡県保健環境研究所, 4) 服部植物研究所, 5) アジア大気汚染研究センター)
- PP07. 日本におけるヒラゴケ属の統計モデルによる分布域の推定
田中敦司*・宮脇成生 (株式会社 建設環境研究所)
- PP08. カナリア諸島 (スペイン) のコケ植物とコケ研究者たち
関 太郎 (広島県廿日市市)
- PP09. 大台ヶ原におけるミヤマクサゴケとイワダレゴケ周囲に生育する蘚苔類の種組成
栄田久美・鈴木雅・横田岳人 龍谷大学大学院理工学研究科
- PP10. 小笠原・琉球諸島に産するコゴケ属の閉鎖果種について
内田慎治 1*・井上侑哉 2・山口富美夫 2・坪田博美 2 (1 広島大・技セ, 2 広島大・院・理・生物科学)
- PP11. 屋久島から見出されたイクビゴケ科の一新種と科内の系統関係
井上侑哉 1*・鈴木 直 2・坪田博美 1 (1 広島大・院・理・生物科学, 2 服部研)
- PP12. *Leiomitra* (*Brachygyna*) *mastigophoroides* R. M. Schust. (ムクムクゴケ科, タイ類) の形態について
片桐知之 (広島大・院・理学)
- PP13. フタバネゼニゴケとツヤゼニゴケについて
嶋村正樹 (広島大・院・理・生物科学)

15:30 ポスター発表終了

15:30 日本蘚苔類学会平成 28 年度総会

16:30 屋久島山荘へ移動

18:30~21:00 懇親会

【8月31日(水)】

(7:00~) 朝食

(8:00~) エクスカーション「荒川・淀川の森」(参加希望者は、コース AB いずれか選択)

コース A (バス 1 号) : ヤクスギランド・苔の橋 (オオサワラゴケ・フォーリースギバゴケ・ウツクシハネゴケ等森林性の蘚苔類).

コース B (バス 2 号) : 淀川線・コケコケワールド (紀元杉三叉路付近。ヤクシマゴケ・ホソベリミズゴケ群落等多彩な蘚苔類)

(12:15) コース B コケコケワールド (紀元杉三叉路) 出発

(12:30) コース A ヤクスギランド出発

(13:00) 解散【屋久島山荘】

※13:30 安房港から高速船で出発の方は、別のワゴン車でヤクスギランドを 12:00 に出発します。

~~~~蘚苔類採集についての規制とお願い~~~~

- ① 本大会のオプションツアー、およびエクスカーション AB で利用する観察フィールド (以下「観察 F」と略) は、いずれも国立公園第三種特別地域に含まれ特定植物の採取 (蘚苔類ではミズゴケ類) は禁止されています。
- ② 観察 F は、屋久島国有林内にあり、イベント開催に対して林野庁屋久島森林生態系保全センターから許可を得ています。観察のためサンプルをつまみあげることは問題ありませんが、現場の群落や個体群に影響のない範囲にとどめてください。しかし研究のためのサンプル採集等に関しては、本大会の会期内には行わず、別の日程で各自入林許可を取得するようお願いいたします。